

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2009年第32号(週報・月報合併号)

週報第32週(8月3日~8月9日)、月報7月

◆◆ 新型インフルエンザ関連情報 ◆◆

7/24の規則改正により、和歌山県新型インフルエンザ対策本部ホームページでは個別の発生経過や発生件数についてではなく、施設等で集団発生があった場合にその状況(例:学校における学年・学級閉鎖等)についてお知らせすることになりました。

7/24から8/9までに報告のあった県内の新型インフルエンザ(A/H1N1)は108名です。この内、第32週(8/3~8/9)の患者報告数は41名です。

- [厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報](#)

(<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>)

- [和歌山県新型インフルエンザ対策本部を設置しました](#)

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/kikikanri/singatainhuruenza.html>)

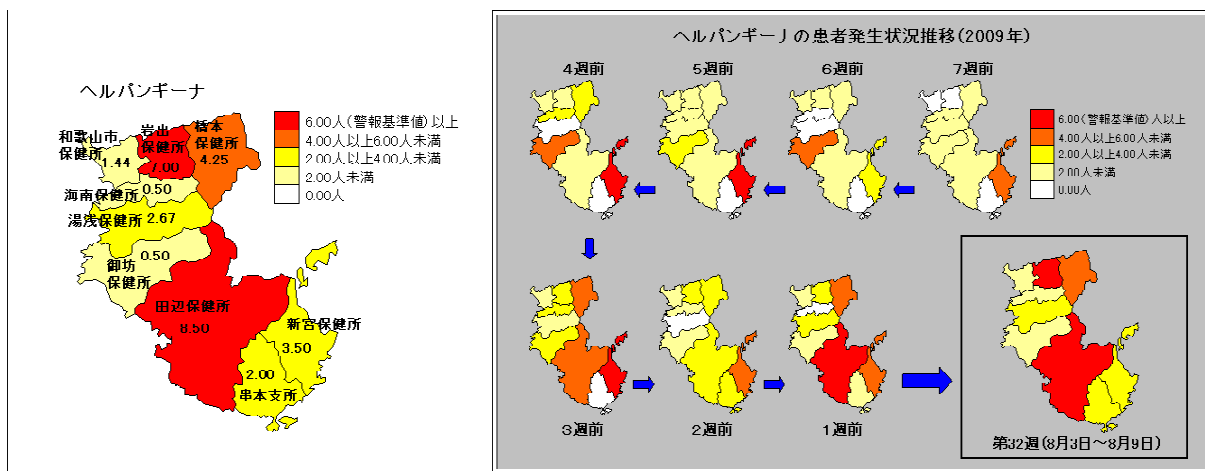
◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— ヘルパンギーナ : 岩出、田辺、新宮保健所管内で警報発令中!! —

第31週までに警報が発令された、田辺、新宮保健所管内に加え、岩出保健所管内にも警報が発令されました。岩出保健所管内の定点当たり患者報告数は、7.00人で前週(第31週:7/27~8/2)の3.50人から大幅に増加しました。和歌山県全体の定点当たり患者報告数は3.58人(第30週:3.23人)と若干、増加しました。

患者報告数は、これから減少していくと思われませんが、保健所によっては管内の患者報告数が増加している地域もあるため、今後の動向に注意が必要です。

なお、ヘルパンギーナの警報については定点当たりの患者報告数が6.0人(解除は2.0人未満)に達したときに発令されます。

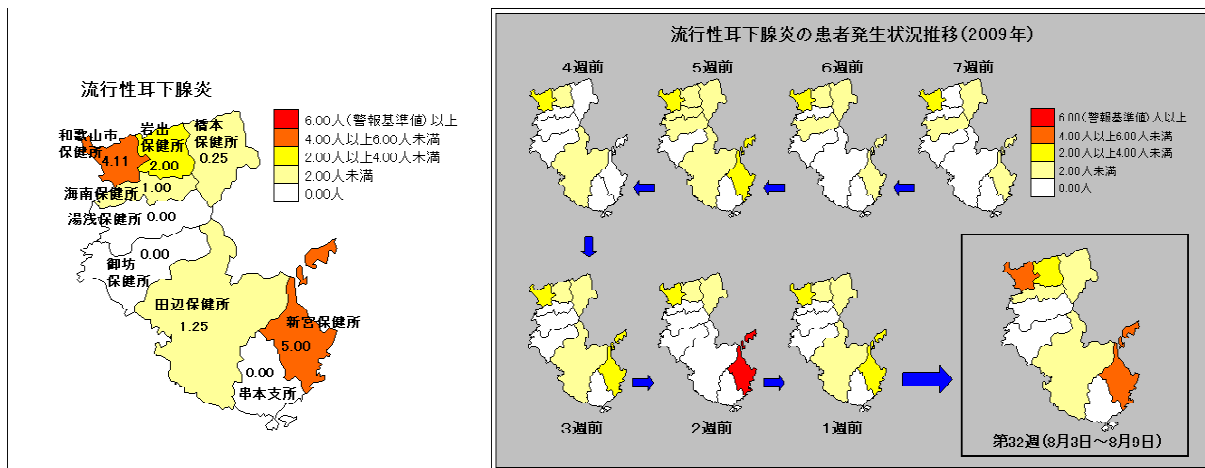


－ **流行性耳下腺炎** ： **和歌山市保健所管内の注意報、新宮保健所管内の警報継続**！ －

新宮保健所管内の定点当たり患者報告数は、5.00人で前週（第31週：7/27～8/2）の2.50人から増加しています。また、和歌山市保健所管内の定点当たり患者報告数は、4.11人で前週（第31週：7/27～8/2）の3.89人から若干増加しています。

和歌山県全体の患者報告数は、過去5年間の同時期と比較して特に多くはありませんが、新宮、和歌山市保健管内は、他地域に比べ患者報告数が多いので、今後の動向に注意が必要です。

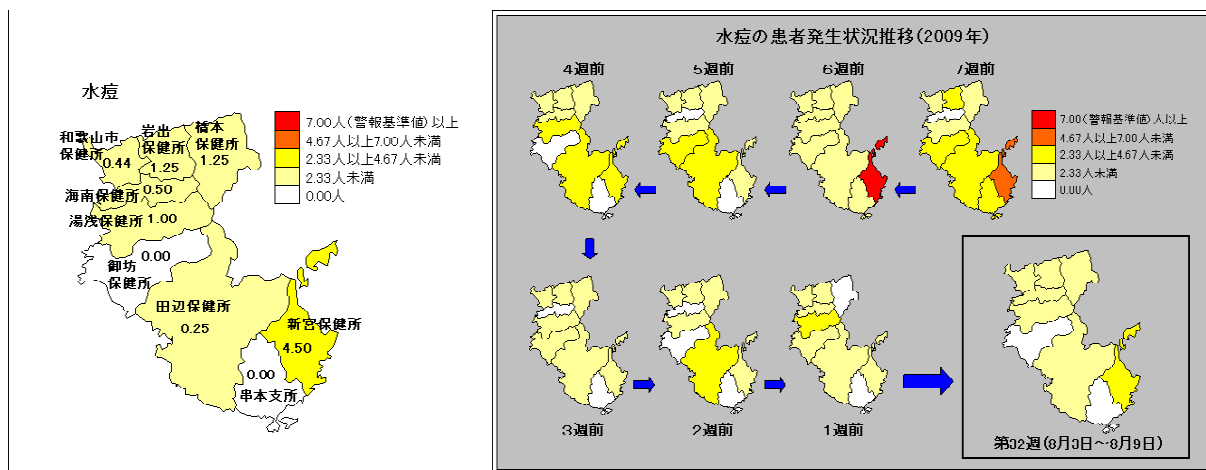
なお、流行性耳下腺炎の警報については定点当たりの患者報告数が6.0人（解除は2.0人未満）、注意報については3.0人に達した時に発令されます。



－ **水痘** ： **新宮保健所管内に注意報発令**！ －

新宮保健所管内の定点あたり患者報告数が4.50人となり、注意報が発令されました。新宮保健所管内以外で、際だった患者増加が報告されている地域は無く、県全体の患者報告数も、過去5年間の同時期と比較して、多くはありません。第31週に湯浅保健所管内に発令された注意報は解除されました。

なお、水痘の警報については定点当たりの患者報告数が7.0人（解除は4.0人未満）、注意報については定点当たりの患者報告数が4.0人に達した時に発令されます。



◆◆ **全数把握感染症について** ◆◆

＜届出状況＞ ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 4 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 名、日本紅斑熱 1 名
- 5 類感染症：報告はありませんでした。
- 新型インフルエンザ (A/H1N1)：41 名

◆◆ 5 類定点把握感染症（月報）について ◆◆

<STD感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、性器クラミジア感染症の最も多い状況が続いている。これは全国
の状況と同じである。性器クラミジア感染症についてはここ数年、年間150人程度の報告がみられる。

その他、性器ヘルペス感染症は減少傾向が見られ、今年も過去5年間と比較して少ない患者報告数で推移
している。尖圭コンジローマの7月までの累積患者数は過去5年間で最も多くなっている。

<院内感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いている。
これは全国の状況と同じである。他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と
非常に少ない状況にある。

7月のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症については、すべて65歳以上の患者報告でした。

◆◆ 5 類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<警報注意報発令状況>

警報発令

ヘルパンギーナ（岩出、田辺、新宮保健所管内）、流行性耳下腺炎（新宮保健所管内）

注意報発令

水痘（新宮保健所管内）、流行性耳下腺炎（和歌山市保健所管内）

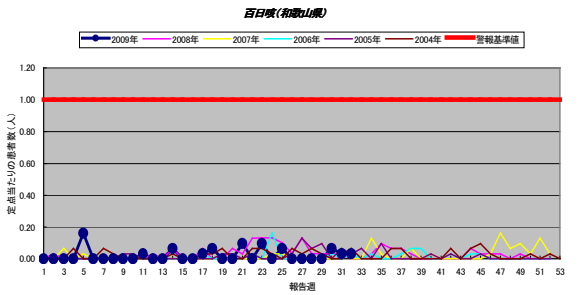
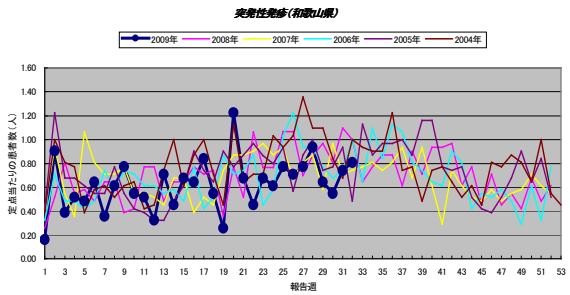
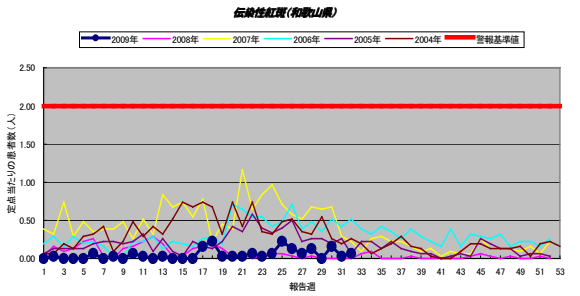
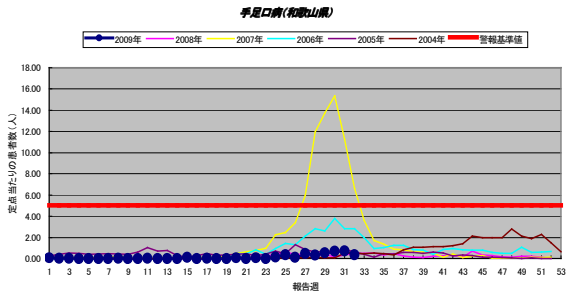
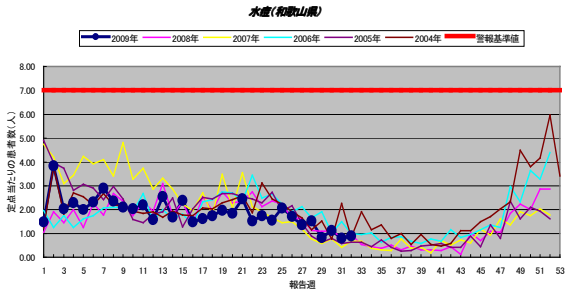
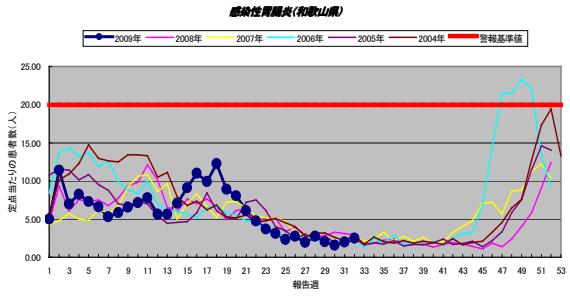
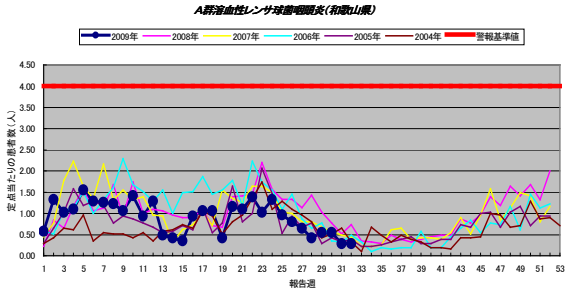
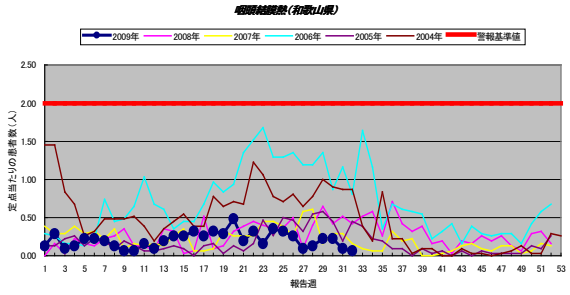
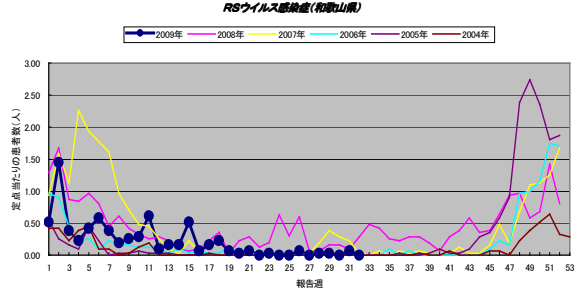
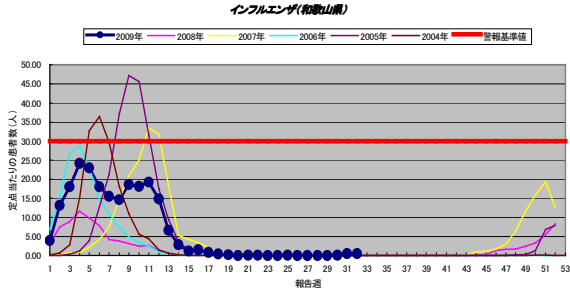
<患者数上位5位>

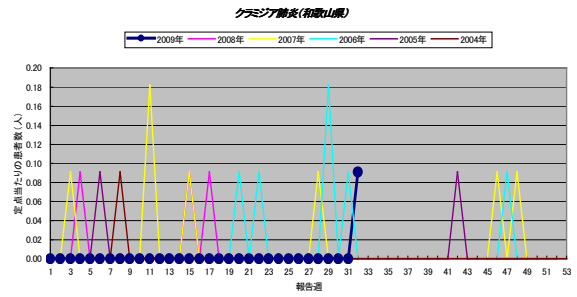
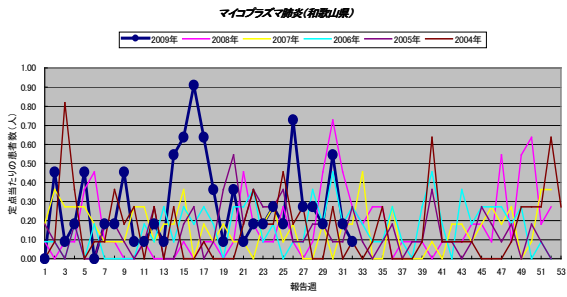
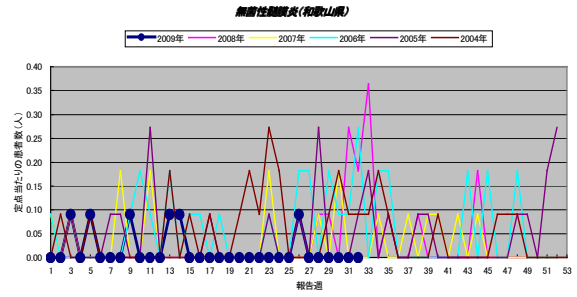
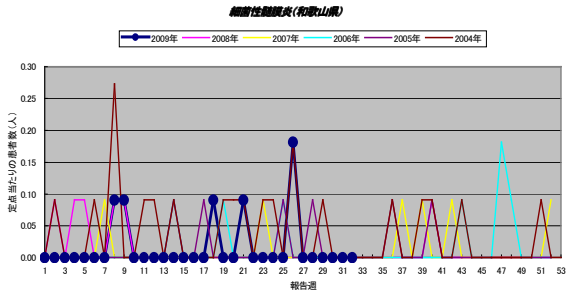
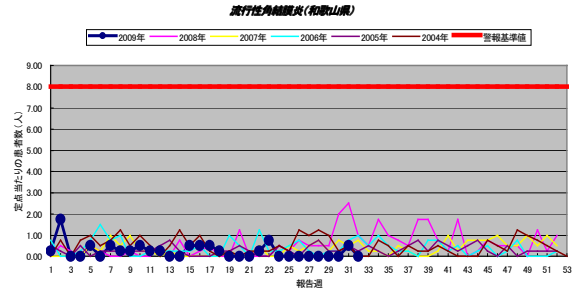
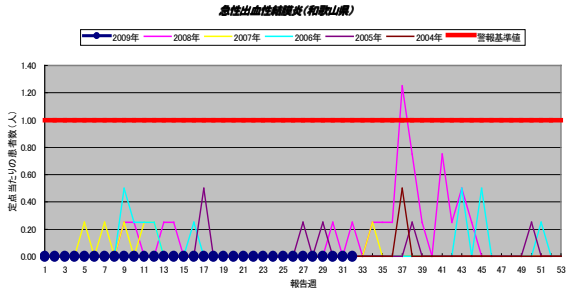
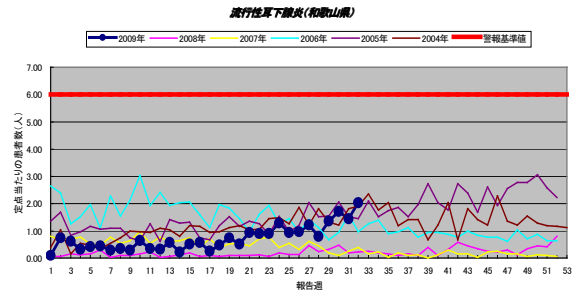
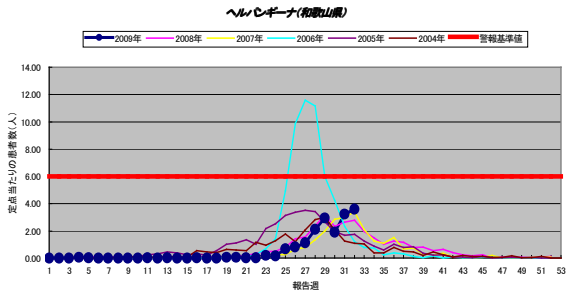
※（ ）内の数値は定点医療機関当たりの患者数

- 1位 ヘルパンギーナ(3.58)
- 2位 感染性胃腸炎(2.52)
- 3位 流行性耳下腺炎(2.03)
- 4位 水痘(0.90)
- 5位 突発性発疹(0.81)

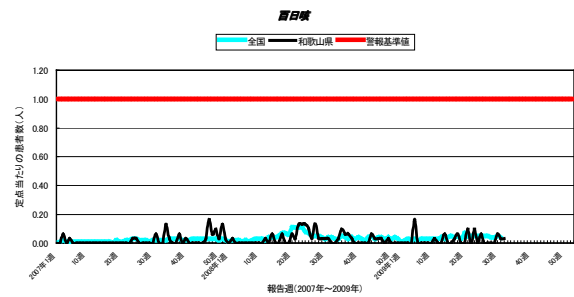
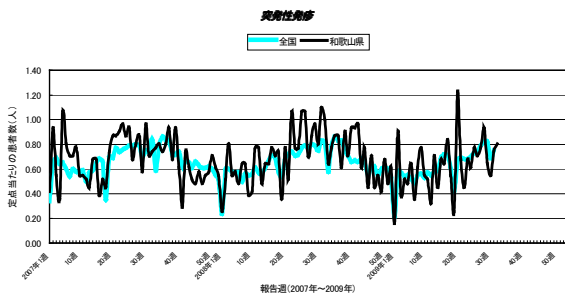
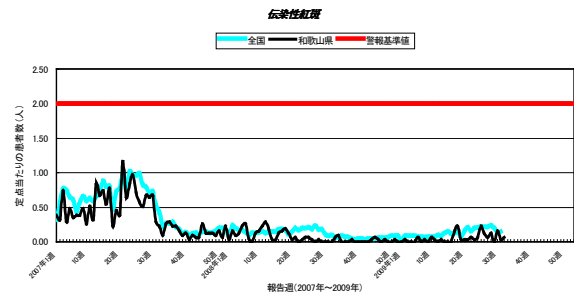
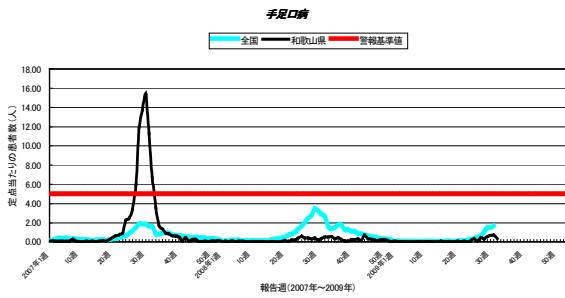
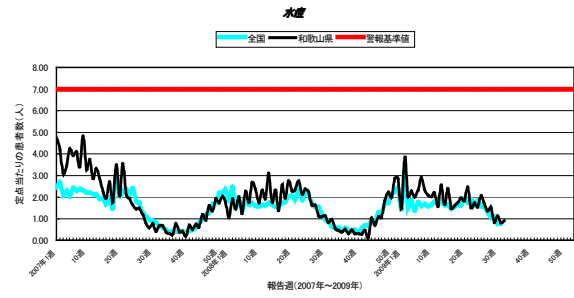
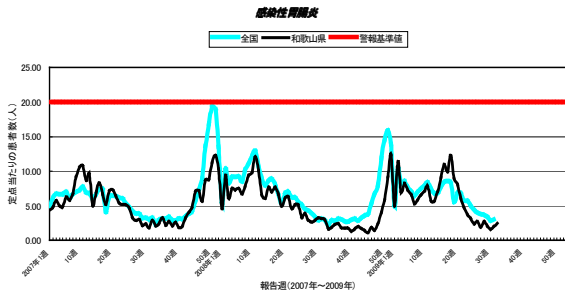
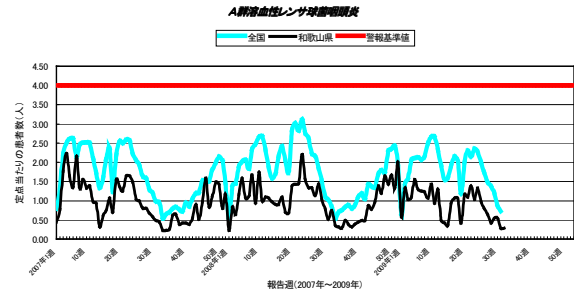
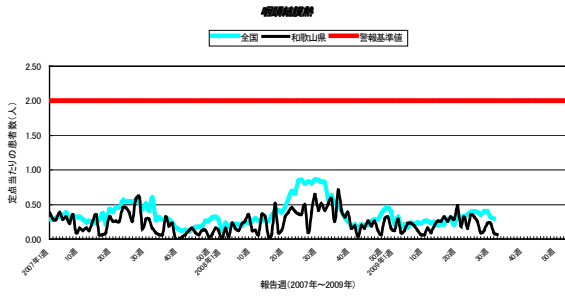
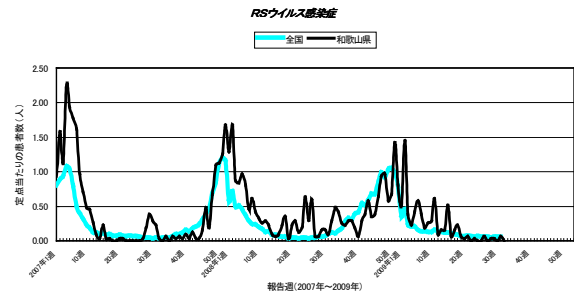
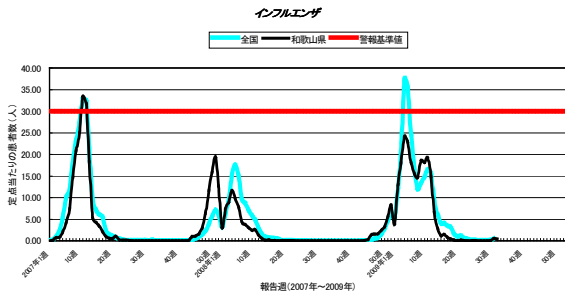
＜週報定点グラフ総覧＞

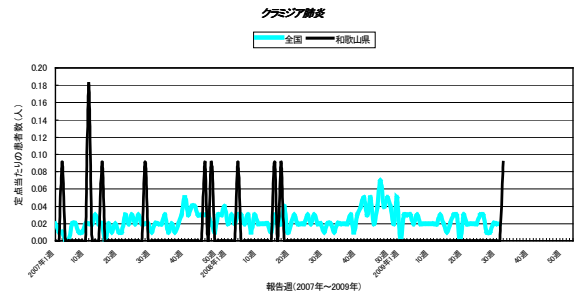
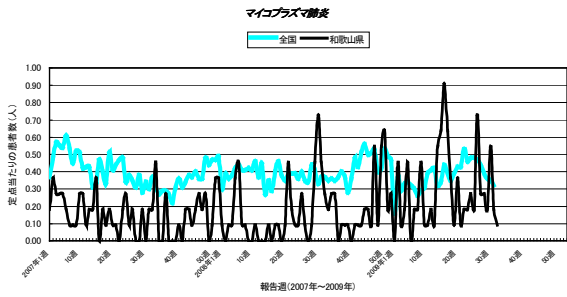
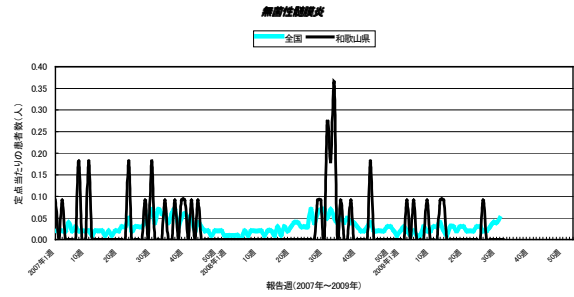
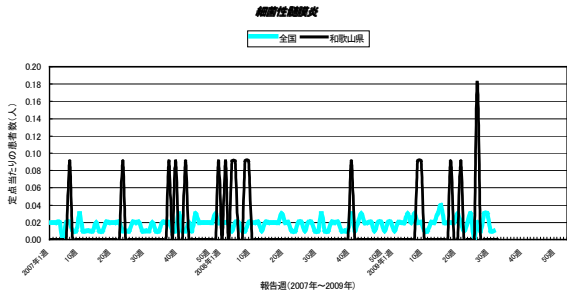
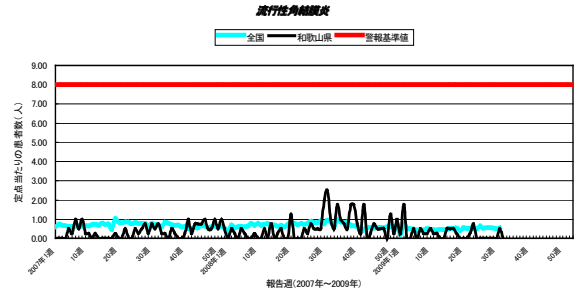
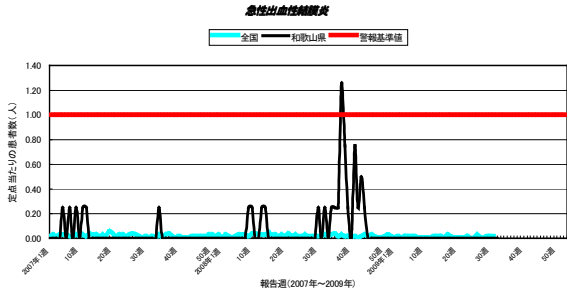
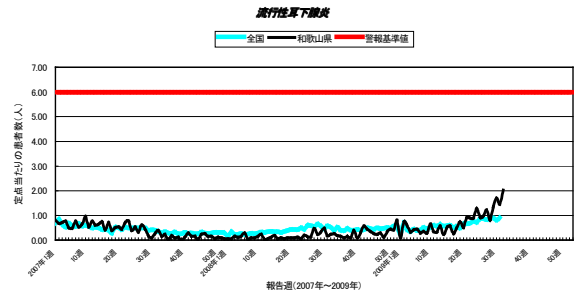
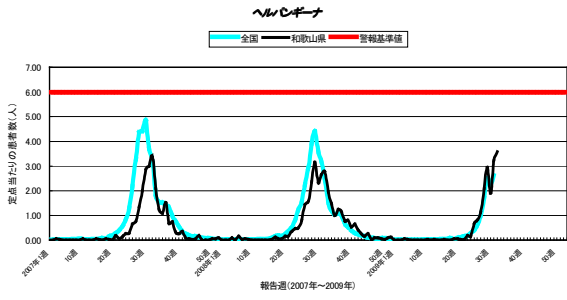
1. 患者数の推移（過去5年の推移と比較）





2. 患者数の推移（全国と比較）





< 定点把握感染症（週報） >

10週分(2009年23週～2009年32週)の患者報告数(和歌山県) ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2009年23週	2009年24週	2009年25週	2009年26週	2009年27週	2009年28週	2009年29週	2009年30週	2009年31週	2009年32週
インフルエンザ	0	1	3	2	0	0	0	4	24	23
RSウイルス感染症	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0
咽頭結膜熱	5	11	10	8	3	4	7	7	3	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	41	30	25	20	13	17	17	9	9
感染性胃腸炎	115	98	73	85	60	86	63	49	62	78
水痘	54	48	64	53	42	47	26	35	25	28
手足口病	0	4	11	3	14	10	17	21	22	11
伝染性紅斑	1	2	7	4	2	4	0	5	1	2
突発性発疹	21	19	24	22	24	29	20	17	23	25
百日咳	3	0	2	0	0	0	0	2	1	1
ヘルパンギーナ	6	5	21	25	35	65	91	59	100	111
流行性耳下腺炎	28	40	29	30	38	25	42	53	45	63
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	3	2	8	3	3	2	6	2	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

10週分(2009年23週～2009年32週)の定点当たり患者報告数(和歌山県) ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2009年23週	2009年24週	2009年25週	2009年26週	2009年27週	2009年28週	2009年29週	2009年30週	2009年31週	2009年32週
インフルエンザ	0.00	0.02	0.06	0.04	0.00	0.00	0.00	0.08	0.49	0.47
RSウイルス感染症	0.03	0.00	0.00	0.06	0.00	0.03	0.03	0.00	0.06	0.00
咽頭結膜熱	0.16	0.35	0.32	0.26	0.10	0.13	0.23	0.23	0.10	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	1.32	0.97	0.81	0.65	0.42	0.55	0.55	0.29	0.29
感染性胃腸炎	3.71	3.16	2.35	2.74	1.94	2.77	2.03	1.58	2.00	2.52
水痘	1.74	1.55	2.06	1.71	1.35	1.52	0.84	1.13	0.81	0.90
手足口病	0.00	0.13	0.35	0.10	0.45	0.32	0.55	0.68	0.71	0.35
伝染性紅斑	0.03	0.06	0.23	0.13	0.06	0.13	0.00	0.16	0.03	0.06
突発性発疹	0.68	0.61	0.77	0.71	0.77	0.94	0.65	0.55	0.74	0.81
百日咳	0.10	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.03	0.03
ヘルパンギーナ	0.19	0.16	0.68	0.81	1.13	2.10	2.94	1.90	3.23	3.58
流行性耳下腺炎	0.90	1.29	0.94	0.97	1.23	0.81	1.35	1.71	1.45	2.03
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.18	0.27	0.18	0.73	0.27	0.27	0.18	0.55	0.18	0.09
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09

2009年第32週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	23	5	5	6	0	3	1	3	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	2	3	0	0	1	0	3	0	0
感染性胃腸炎	78	57	6	1	6	2	0	4	2	0
水痘	28	4	5	5	1	3	0	1	△9	0
手足口病	11	0	1	5	0	0	1	2	1	1
伝染性紅斑	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	25	9	7	1	2	4	1	0	1	0
百日咳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	111	13	○28	17	1	8	1	○34	○7	2
流行性耳下腺炎	63	△37	8	1	2	0	0	5	○10	0
急性出血性結膜炎	0	0	-	-	-	-	-	0	-	-
流行性角結膜炎	0	0	-	-	-	-	-	0	-	-
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
マイコプラズマ肺炎	1	1	0	0	-	0	0	0	0	-
クラミジア肺炎	1	1	0	0	-	0	0	0	0	-

2009年第32週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	0.47	0.33	0.83	1.00	0.00	0.60	0.33	0.43	0.00	0.00
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	0.06	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.22	0.75	0.00	0.00	0.33	0.00	0.75	0.00	0.00
感染性胃腸炎	2.52	6.33	1.50	0.25	3.00	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00
水痘	0.90	0.44	1.25	1.25	0.50	1.00	0.00	0.25	△4.50	0.00
手足口病	0.35	0.00	0.25	1.25	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	1.00
伝染性紅斑	0.06	0.11	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	0.81	1.00	1.75	0.25	1.00	1.33	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	3.58	1.44	○7.00	4.25	0.50	2.67	0.50	○8.50	○3.50	2.00
流行性耳下腺炎	2.03	△4.11	2.00	0.25	1.00	0.00	0.00	1.25	○5.00	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-
流行性角結膜炎	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	0.09	0.33	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	0.09	0.33	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-

2009年第32週 年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10～14		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳～		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
インフルエンザ	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	

2009年第32週 年齢階級層別の定点当たり患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10～14		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳～		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
インフルエンザ	男	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29

和歌山県感染症情報（WIDR）2009年第32号

発行日：平成21年8月12日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。